

# 高野米峰家略系図

べい  
ほう

( 生没名師弟 )

## 和七郎

・文政年中春日領騒動を鎮め庄屋となり後  
代官格。

## 米峰

柏崎(平井)の人。一八二二〜一九〇九、八九歳で没。  
名は潔之、字は中矩、通称六太夫、号米峰・迂斎また  
餐霞園・松石斎。

ツキヒクニユウ

- ・江戸に出て昌平黌で学ぶ、古賀汎庵。
- ・長崎では日高鉄翁に南画を学ぶ。

## 隆貞(柏崎医師)

## 善平(北魚沼群並柳村関矢へ)

## 士峰

しほう

- 一八八七、五四歳で没。
- 名は隆礼、字は有方、通称駒蔵。
- ・柏崎原氏の門に入る。
- ・江戸に出て碩儒明師について詩文書画を学ぶ。
- ・帰柏して小学校訓導。
- ・村山禎治らと共に算学者佐藤雪山の遺志を継ぎ「通  
機算法」を出版。

(米峰妹は高柳の村山鉄斎へ)

きんけい

## 琴溪

柏崎(平井)の人、三七歳で没。

名は寿一郎 号琴溪・琴田。

- ・安井息軒に学び、詩・書画を良くす。
- ・帰柏し茶畑を開き亭を構える。

## 誠亮

明治四一、米峰八八歳の時「米峰寿詞」を刊行する。

